

経営改善計画書(令和2年度～令和4年度)

団体名	有限会社グリーンもちがせ
-----	--------------

様式2

現状と課題	集落の任意組織の結成が進んだり、他方で離農が進んだりと受託作業量が減少する中、耕作放棄地の未然防止為の耕うん等にも積極的に係わり受託作業量を確保することが課題である。またオペレーターの高齢化が進む中オペレーターの確保と育成も急務となっている。
経営方針 (令和4年度目標)	地域農業の受託作業の受け皿として会社を存続させ、地域農業の活性化と安全作業を徹底し作業の効率化を図るよう努める。

視点	4年度目標 (期間内の 最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当課コメント				
			取組内容	目標値	取組状況	実績値						
経営改革 <small>(財務面での長期見直し)</small>		2年度	受託作業量の確保	計画比100%以上	本年も営農を継続できない状況の農家が増え、作業量は減る一方であったが、耕作放棄地の解消に取り組む集落に働きかけを行い、耕うん作業を確保でき、前年対比102%と作業面積の確保に努めた。	決算：営業利益794千円、純利益361千円	純粋に耕作面積の確保にとどまらず、中山間直接支払交付金を受け集落に働きかけることにより、作業量は確保できる。しかし、交付金以内で耕うんと除草作業を行うのは難しく試作的な取組であったことも事実であり、次年度の申し込みは無かった。					
			事業費用の削減	計画比100%以内								
		3年度	受託作業量の確保	計画比100%以上					本年も営農を継続できない状況の農家が増え、作業量は減る一方であったが、水稲以外の作物の請負を行い、耕うん作業を確保でき、前年対比106%と作業面積の確保に努めた。	決算：営業利益660千円、純利益228千円	水田以外の耕うんも含め広い範囲での請け負も視野に入れ、面積拡大に努めた。本年は耕作放棄地の耕うんはなかったが、引き続き働きかけを行っていきたい。	
			事業費用の削減	計画比100%以内								
		4年度	受託作業量の確保	計画比100%以上					田植え作業、稲刈り作業、また耕作放棄地未然防止のための耕うん作業等、各集落に働きかけ、作業量の確保に努めた。受託面積は前年対比99.3%であった。	決算：営業利益291千円、純損失249千円	本年、籾摺り機の更新、また田植え受託作業面積の減少が影響し、損失が発生した。引き続き、経費の削減、各集落への働きかけを行い受託面積の確保に努めていく。籾摺り機の更新により、以前よりも利用者が増加している	
			事業費用の削減	計画比100%以内								
	組織改革 <small>(組織見直し、人材育成)</small>	の様に7若返り5歳以下を果した下取オオタ組も6歳同名	2年度	オペレーターの確保と育成	6人	定年退職された方へアプローチを行っている。	1名の増員 (但し、1名の休職により増減等)	6名のオペレーターでは安定的な作業が行えない為、更に1名を増やす必要がある。	引き続き耕作放棄地解消に努めていただきたい。			
				取締役の若返りと機動力の向上								
			3年度	オペレーターの確保と育成	6人						6名	6名のオペレーターでは安定的な作業が行えない為、更に1名を増やす必要がある。
				取締役の若返りと機動力の向上								
			4年度	オペレーターの確保と育成	6人						6名	今後も、引き続き定年退職者へのアプローチを行い、人材確保に努めていく。
				取締役の若返りと機動力の向上								
公益増進 <small>(顧客サービスの向上、社会貢献)</small>		2年度										
		3年度										
		4年度										